

町民の笑顔がほころぶ佳き年に

妹背牛町長 田中 一典



晴れやかに冴えわたる新春をご家族ともどもお迎えになられた事とお慶び申し上げます。まばゆいばかりの金色の朝日に照らされ令和2年の幕開けを迎えました。町民の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。災害列島の日本にありまして、石狩川、雨竜川、大鳳川をはじめ大小河川が貫流しながらも、米どころの妹背牛町は、災害の少ない地域と言われてきました。

しかしながら災害の少なさ、それは150年近くにわたる先人たちの不断の努力、治水土木工事や水防作業によって守り抜かれてきた自然との闘いの歴史そのものの結果でもあることを忘れてはいけません。

一昨年に比べますと、昨年とは天候にも恵まれ、大きな災害も無く収穫の秋を皆様と共に迎えることが出来ましたことは、深い喜びでありました。

また昨年は国営農地再編整備事業妹背牛地区で、約千ヘクタールが大規模農場として、めでたく竣工を迎えました。土地改良事業はこれからも営々と続いていきますが、将来を見据えた中での先駆的な一大事業となりました。これから先の営農の姿に大きな期待を寄

せたいと思います。

さて、妹背牛町ではまちの将来像を描く第9次総合振興計画を町民の皆様と共に策定し、「暮らしてみたい、暮らし続けたいまち」として、様々な施策を展開して参ります。

冬はカーリングに多くの交流人口が訪れ、夏はウォータースライダーや遊具のあるカーリングホールが家族連れでにぎわう町。さらには3コースの起伏に富んだパークゴルフ場を備え、「源泉かけ流し」温泉ペペルの湯を町内外の方々に楽しんでいただきたいと思います。

そして、ふるさと納税の看板であります、北彩香ブランド米の返礼品などの特産品も末永く、全国津々浦々にまで、その評判が広がっていく事を願っています。

またNPO法人わかち愛もせうしやそば打ち同好会が味覚を賑わしてくれています。社会福祉が他人事ではなく、生活の自然な流れの中に沿った町づくりを進めている本町の取り組みは、先進事例としても注目されております。

結びに、本年が町民の皆様にとりまして様々な意味で飛躍の年、実りのある年でありますことと、豊穡の出来秋を大いに喜び合い「素晴らしい年になりました」と笑顔がほころぶよう、心よりご祈念申し上げ年頭のあいさつといたします。

開かれた議会をめざして

妹背牛町議会議長 渡会 寿男

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことで、心からお慶び申し上げますと

とともに、日頃より議会活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年9月には、妹背牛町議会議員選挙により、16年ぶりに町民の皆様の審判を受け、現議員による新たな議会として生まれ変わりました。

ここに新春を迎え、妹背牛町の更なる発展のため、より身近な議会、より開かれた議会の実現を念頭におきながら、この1年を町民の皆様の代表として、精一杯努めていく決意を新たにいたしました。

昨年を振り返りますと、秋には台風が猛威を振るい、全国各地で甚大な被害をもたらしました。特に台風15号や台風19号では、暴風による家屋の被害だけでなく、大雨による河川の氾濫により、広範囲にわたる水害など、大規模な災害となりました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと同時に、一日も早い復興を願うところでございます。



幸いにして本町においては、大きな被害はありませんでしたが、近年、想定を超える規模の災害が多発する中、改めて災害を教訓とした、地域防災・減災のあり方を模索し、安全・安心のまちづくりに努めていかなければならないと考えるところであります。

さて、基幹産業の農業では、8月上旬の高温や9月の降雨などの影響により、平年作以上ではあったものの、品質に懸念が残る年となりました。今後、さらなる高品質・良食味米の安定生産を進めるべく、関係者が一丸となった積極的な取り組みが期待されるところであります。

近年、地方議員のなり手不足が全国的な話題として取り上げられております。これらの課題解決には、二元代表制の一翼である議会が議会力の向上に努め、行政を監視する役割をしっかりと果たし、町民の信頼を得て、議会の必要性、重要性を多くの方にご理解いただくことが大切であります。本町議会におきましても、議会の活性化をはじめ、さまざまな検討を進めながら、よりわかりやすく、身近で開かれた議会づくりに努めてまいりますので、町民の皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、令和として迎える初めての新年が、明るく希望の持てる年となりますよう、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。